

**鳥取県大山町（だいせんちょう） 保育所での事故防止研修**

独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「JSC」という。）では、保育中の事故防止の取組に活用できる教材や資料を、災害共済給付Web等で提供しています。また、それらの資料に基づいた、事故防止や災害発生時の対応についての説明会等に、職員を派遣しています。

この度JSCは、鳥取県の大山町教育委員会からの依頼を受け、昨年につき「保育所での事故防止研修」において、説明をさせていただく機会を得ましたので、その様子をご紹介します。



研修風景 1

**【鳥取県西伯郡大山町】**

大山町は、鳥取県西部に位置し、北側には日本海、南側には大山隠岐国立公園の中心を成す中国地方最高峰「大山」の頂を含む、自然豊かな町です。



大山町から見る大山北壁

(大山町広報より提供)

大山町には保育所が4園（中山みどりの森保育園、名和（なわ）さくらの丘保育園、大山きやらぼく保育園、大山保育所）と、3歳児未満の乳幼児を対象とした小規模保育所が1園（大山ひめぼたる保育園）あり、各園ともに園内には、安全に配慮した広い園庭と、手入れの行き届いた四季折々の花々が咲いており、山・海・川などの豊かな自然の中で心

と体を育む保育に取り組まれています。

事故防止研修会は、保育士をはじめとする保育所に勤務するすべての職員が、いずれかの研修に参加できるよう、日を変えて3回、3つの園で開催しました。そのうちの、名和さくらの丘保育園での研修会の様子をご紹介します。



名和さくらの丘保育園園舎



プランターや鉢植えの花

### 【なくそう！保育中の事故】

保育所での事故防止研修は、各園の保育室を1室使って、各々が無理のない体勢で説明を聞きます（「研修風景1」参照）。

昨年は「なくそう！保育中の事故」のパンフレットを基に、乳幼児の死亡事故の中でも割合の多い乳幼児突然死症候群、誤嚥について、また、障害が残る事故の中でも割合の多い顔面や手指の外傷について、事故の事例や事故防止のポイント、事故発生時の対応などを説明しました。中でも、熱中症について詳しく聞きたいとの要望があり、発生のメカニズムや要因などを含め、詳しく説明しました。

心停止の対応の説明の中で「一次救命処置の一連の流れを声に出してエアーでやってみましょう」と提案したところ、お隣同士で声を掛け合って早期認識・通報を始める方や、実際に園に設置したAEDを走って取りに行き、役割分担をして救命処置に当たる方な

ど、緊急時に何をすべきか自身の役割を認識し、対応に当たるのが、しっかりと身につけている印象を受けました。

また、この研修後に「すべての園に熱中症指数計を購入した。」「園庭やプールに日よけを追加し、日陰を作った。」などのご報告をいただきました。



園の児童玄関に設置されているAED

今年度の研修は、昨年度参加していない方もいらっしゃるということから、内容を最新のデータ等に更新し、再度説明をしました。また、プールが始まる時期に合わせて、水の事故防止と、乳幼児に起こりやすい事故として、誤嚥、肘内障（ちゅうないしょう）などを詳しく聞きたいと、設置者と園から要望がありました。

はじめに、過去5年間の鳥取県における、幼稚園・こども園・保育所等の災害発生の場合別、場所別、負傷・疾病の種類別、部位別の統計データから、事故の傾向を解説、次にそれぞれの事故事例を紹介し、事故防止のポイント、発生時の対応について説明しました。

誤飲と誤嚥について		事故発生時の対応	
<p><b>誤飲</b></p> <p>口→咽喉→食道→胃</p> <p>ボタン電池やたばこ、薬など、本来飲み込まないものを間違えて飲み込んでしまった場合。</p> <p>誤飲での受診の際は、基本的には吐かせないで、同じものがあれば持参してください。</p> <p>○事故受診時に病院で伝えること</p> <p>1 誤飲したもの 2 種類 3 場所 4 時間 5 応急処置の有無 6 応急処置の内容 7 嘔吐、腹痛などの症状はないか</p> <p>※灯油、ベンジン、除光液などを誤飲した場合は直ちに救急搬送してください。</p>	<p><b>誤嚥</b></p> <p>口→咽喉→喉頭 →気管、気管支</p> <p>気道がふさがれ、新鮮な空気を取り込めなくなることで、低酸素状態となり、身体機能に影響を及ぼすことを窒息と言います。</p> <p>窒息が起きると5分後には呼吸停止、その5分後には、低酸素による脳の障害が発生します。小さな子どもでも、直径99mmまでの物は口に入れることが可能で、咽喉や気管付近で詰まると空気の通り道を塞いでしまいます。より小さな大豆やアーモンド程度の大きさのものは、声帯を通過し気管をふさいでしまうことで誤嚥を発生させやすく、「完全閉塞」では脳障害、死亡のリスクが極めて高くなります。</p>	<p><b>誤嚥・窒息への対応</b></p> <p>1. 呼吸が止まっている場合</p> <p>2. 呼吸が止まらない、意識不明の場合</p> <p>3. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>4. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>5. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>6. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>7. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>8. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>9. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>10. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>11. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>12. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>13. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>14. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>15. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>16. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>17. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>18. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>19. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>20. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>21. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>22. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>23. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>24. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>25. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>26. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>27. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>28. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>29. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>30. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>31. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>32. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>33. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>34. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>35. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>36. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>37. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>38. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>39. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>40. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>41. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>42. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>43. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>44. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>45. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>46. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>47. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>48. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>49. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>50. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>51. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>52. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>53. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>54. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>55. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>56. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>57. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>58. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>59. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>60. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>61. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>62. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>63. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>64. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>65. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>66. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>67. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>68. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>69. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>70. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>71. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>72. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>73. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>74. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>75. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>76. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>77. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>78. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>79. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>80. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>81. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>82. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>83. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>84. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>85. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>86. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>87. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>88. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>89. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>90. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>91. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>92. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>93. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>94. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>95. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>96. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>97. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>98. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>99. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p> <p>100. 呼吸が止まらない、意識がある場合</p>	

研修資料より抜粋

最後に、保育中の事故防止資料として、令和5年度に作成された「保育事故防止ハンドブック」「保育事故対応ハンドブック」「なくそう！固定遊具の事故」等の紹介をして、会を締めくくりました。

### 事故防止等に関する資料



保育事故防止ハンドブック



保育事故対応ハンドブック



なくそう！固定遊具の事故



固定遊具の事故防止マニュアル





熱中症を予防しよう  
～知って防ごう熱中症～

上記資料は災害共済給付Webからダウンロードできます！



研修資料より抜粋（事故防止に関する資料）

【終わりに】

6月下旬から7月上旬にかけて3回行った研修会では、どの回の参加者も、時に頷きながら、時にメモを取りながら、熱心に聴講されていました。研修終了後には、誤嚥や傷の

手当に関する事、プールでの熱中症予防に関する事への質問や、日頃の園児の様子をお聞かせいただくなど、気づきや学びの多い貴重な時間となりました。

また、研修の感想として「身近なケガの案件をしっかりと見直し振り返ることが、事故防止の一步だと感じた。」「職員が子どもの命を守るということで、意識を高めていきたい。」などがありました。

保育に携わる全ての参加者から、「子どもたちの安全」に対する熱量が伝わってきた研修会でした。



研修風景2

JSCでは、幼稚園、こども園、保育所等における保育中の事故防止についても、資料の充実を図るとともに、説明会や研修会で情報を提供しています。研修の形態、内容については、お気軽にご相談ください。

中国四国地域のお問い合わせは  
広島業務推進課（082-511-2822）まで

\*\*\*\*\*

【参考】

- ・ [保育事故防止ハンドブック（解説編）](#)
- ・ [保育事故対応ハンドブック（フローチャート編）](#)
- ・ [幼稚園・保育所等の事故防止パンフレット なくそう！保育中の事故](#)
- ・ [固定遊具の事故防止パンフレット なくそう！固定遊具の事故](#)
- ・ [固定遊具の事故防止マニュアル](#)
- ・ [映像資料「熱中症を予防しよう～知って防ごう熱中症～」](#)

【問い合わせ】日本スポーツ振興センター災害共済給付事業部広島支所  
TEL：082-511-2822 E-mail：saigaiyosai-hiroshima@jpnstport.go.jp